



かみとんだ

議会だより

第 130 号
2010.6

「議会だより」は、上富田町のホームページに掲載しています。

任期満了により改選された町議会は、5月17日に臨時会を開会して議会構成を行い、新たな議会がスタートしました。

議長に 奥 田 誠 氏

副議長に 大 石 哲 雄 氏 が就任



近畿自動車道紀勢線の（仮称）上富田インターチェンジの完成予想図

※この完成予想図は4車線道路でのイメージ図で、実際の工事は2車線のため、完成にあたっては、予想図と異なることがあります。
(上富田町朝来 岝付近)

3月議会で2議員が一般質問を行いました！

木村政子議員：☆南紀の台から岩崎へ抜ける道路の計画はどうか

☆町広報の放送時間について ☆地域見守り協力員の役割について

☆乳幼児健診の未受診者はいるか

井潤 治議員：☆後期高齢者医療特定入院基本料の全年齢に拡大する問題について

☆町内大型店舗、スーパーの進出による諸問題について

☆市民の健康管理について ☆子どもの医療費無料化の拡大について

☆農業振興について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

町議会議員12名が決まり、新しい議会がスタートしました。

平成22年第2回臨時会



引き続き新議長のもとで副議長選挙の結果、大石哲雄氏となり、大石哲雄氏が当選し、副議長に就任しました。

井潤治臨時議長のもとで議長選挙が行われ、投票の結果、奥田誠氏 9票、榎本敏氏 2票、井潤治氏 1票となり、奥田誠氏が第24代議長に就任しました。

町政発展のため円滑な議会運営に努力したい

町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

任期満了により、4月20日に告示されました町議会議員選挙にあたりましては、皆様方の絶大なるご支援をいただき、議会を代表しまして厚くお礼申し上げます。

さて、5月17日の初議

常任委員会

○後期高齢者医療広域連合議会（構成 市町村）

二つの常任委員会があります。次のページに新しい委員会構成を掲載しています。



大石哲雄 副議長



奥田 誠 議長

議長に 奥田誠 氏 副議長は 大石哲雄 氏

を進めています。
地方交付税、国庫負担、補助金の削減等、年々地方自治体にとっては行財政の運営、特に財政が非常に厳しい状況であり、現在、積極的な行財政改革に取り組んでいるところです。

特別委員会

専門的に審査・調査を行うために、必要に応じ、議決をして特別委員会も設置をしています。

一部事務組合議会と構成市町

○上大中清掃施設組合議会（構成 田辺市・上富田町）

○富田川治水組合議会（構成 田辺市・白浜町・上富田町）

○田辺市周辺広域市町村圏組合議会（構成 田辺市・みなべ町・白浜町・すさみ町・上富田町）

○公立紀南病院組合議会（構成 田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町）

どうか町民の皆様方のご支援ご鞭撻をお願い申し上げまして就任の挨拶とさせていただきます。

町議会では、「住みよい豊かな町づくり」の為に、活発な論議を開催し、町政と皆様とのパイプ役として、皆様の声を議会を通じて町行政に反映していき地方議会の役割を十分努めて参りたいと考えております。

私は上富田町は、平成22年3月31日までの第2次法定期限内での市町村合併を見合して単独町政を行っています。

総務教育常任委員会

総務教育常任委員会の所管事項は「会計、庶務、行政、財政、まちづくり、税務、教育（学校教育・生涯学習）などに関する事項や、他の委員会に属さないこと」となっています。



委員 木本眞次



委員 大石哲雄



委員長 榎本 敏



委員 井潤 治



委員 奥田 誠



副委員長 沖田公子

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会の所管事項は「農林業、建設、上下水道、福祉、健康、保健衛生、保育所に関する事項」などとなっています。



委員 池口公二



委員 木村政子



委員長 畑山 豊



委員 吉田盛彦



委員 三浦耕一



副委員長 山本明生

議会運営委員会

議会運営委員会の所管事項は、定例会や臨時会の会期日程や議案・請願・陳情の取扱い、その他議長の諮問に関する事項についての審議を行うことになります。文字どおり議会の運営について協議する委員会で、6名の構成になります。

委員長 吉田盛彦 副委員長 木本眞次
委員 畑山 豊 委員 沖田公子
委員 榎本 敏 委員 井潤 治

議会広報特別委員会

議会広報特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、議会広報について本議会の閉会中も継続して審査・編集・発行をするもので、6名の構成になります。

委員長 木村政子 副委員長 三浦耕一
委員 畑山 豊 委員 榎本 敏
委員 池口公二 委員 榎本 敏
委員 池口公二 委員 吉田盛彦

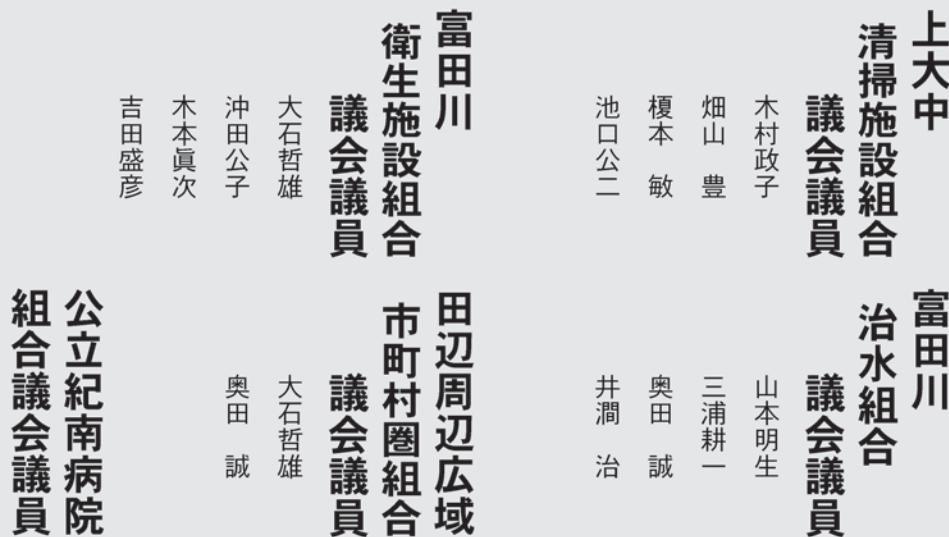
高速道路対策特別委員会

高速道路対策特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、高速道路について本議会の閉会中も継続して審査するもので、6名の構成になります。

委員長 池口公二 副委員長 三浦耕一
委員 山本明生 委員 大石哲雄
委員 沖田公子 委員 木本眞次

一部事務組合の議会議員を選出

一部事務組合とは、2つ以上の町村が団体の事務や機関に委任されている事務の一部を共同で処理するためには設ける地方公共団体の組合をいいます。（各組合議会の構成団体は前記のとおりです。）



和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

後期高齢者医療制度に伴い、県下30市町村で構成する広域連合議会議員

奥田 誠

○監査委員に 吉田盛彦 氏（議会選出）

監査委員は地方自治法によって、町長が「財務管理や事業の経営管理について、専門知識や経験のある人からと、議員のうちから」議会の同意を得て選任することになっています。その議会から選出されています。

今回、議会構成が改選されたことに伴い、吉田盛彦氏を選任したいとの町長の提案に全会一致で同意しました。

○農業委員会委員に 畠山 豊 氏

議会構成の改選に伴う農業委員の選出は、産業民生常任委員の中から畠山 豊氏を選出しました。

○体育協会理事に 山本明生 氏 吉田盛彦 氏

上富田町体育協会の規約により、町議会より理事2名を選出しました。

※今回の議会改選による役職の任期については、いずれも上富田町議会の申し合わせにより、2年間としています。



上富田町議会 議 場

会期（平成22年3月10日～24日）

15日間

3月定例会に町長から提出された案件は、条例2件、平成21年度一般会計補正予算1件、平成22年度各会計の当初予算16件、工事請負変更契約4件、人事案件2件で、いずれも原案どおり可決しました。また、議会から意見書2件が提出され可決しました。

3月
議会

条 例

◎上富田町手数料徴収条例の一部を改正する条例

（この条例は、本年4月1日から施行される和歌山県の事務処理の特例に関する法律に基づき、移譲される手数料徴収事務について、所用の整備を行うため、改正するものです。）

◎町長及び副町長の給与の減額支給に関する条例の一部を改正する条例

（この条例は、町長、副町長の給与の10%減額について、行政改革の一環として平成16年1月1日から行っており、今回、引き続き任期期間中、給与の10%を減額するものです。）

工事請負変更契約

◎工事名……平成21年度 公共下水道事業 朝来下水道管（19工区）布設工事

契約金額……変更後95,371,500円（変更前80,598,000円）

今回、14,773,500円の増

契約相手……和歌山市小松原通三丁目69番地

株式会社 淩川組

取締役社長 池内茂雄

進む公共下水道工事
(役場付近の県道への下水道管布設)



◎工事名……平成21年度 第3号 公営住宅建設事業 中島住宅移転（建築1工区）工事

契約金額……変更後52,920,000円（変更前51,030,000円）

今回、1,890,000円の増

契約相手……西牟婁郡上富田町生馬567-1

株式会社 後工務店 代表取締役 後 雅雄

◎工事名……平成21年度 第4号 公営住宅建設事業 中島住宅移転（建築2工区）工事

契約金額……変更後52,458,000円（変更前50,610,000円）

今回、1,848,000円の増

契約相手

西牟婁郡上富田町生馬567-1

株式会社 後工務店

代表取締役 後 雅雄



建築中の中島住宅
(岡地区)

◎工事名……平成20年度 第5号 地方道路整備臨時交付金事業

町道市ノ瀬橋線旧橋梁撤去（その2）工事

契約金額……変更後33,498,150円（変更前37,305,450円）

3,807,300円の減

契約相手

西牟婁郡上富田町市ノ瀬2502-6

株式会社 堀組

代表取締役 堀 孝任

旧市ノ瀬橋の橋脚撤去工事



人事案件

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。 上富田町岡 平田 幸次 氏（再任）

◎副町長の選任について

3月末で任期満了に伴う副町長の選任については、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。

上富田町朝来 平見 信次 氏（再任）



平見副町長

<平成21年度一般会計補正予算第7号>…今回8,913万3千円を追加し、

総額を59億2,123万4千円としました。 補正予算の主な事業内容等は、次のとおりです。

◎総務費

（きめ細かな臨時交付金事業）

国の2次補正予算において、明日の安心と成長のための緊急経済対策として、地域活性化きめ細やかなインフラ（基幹施設）整備事業などを進めるため、地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業が創設され、今回、町では次の事業を実施することになりました。

・上富田スポーツセンター観客席等設置工事（設計監理委託料・工事請負費）……………2,000万円



平成27年に開催される和歌山国体受入れによる整備を行う。

（スポーツセンター多目的グラウンド）

- ・橋梁補修塗装工事…………… 1, 700万円
(町内にある鋼鉄製の橋の塗り替えを行う。)
- ・南紀ノ台1号線歩道整備工事…………… 700万円
(今回、延長 100m・幅員 2mの歩道を新設する。)



歩道を新設する
町道南紀ノ台 1号線
(南紀ノ台地区)

- ・岡創作館修繕工事（設計監理委託料・工事請負費）…………… 590万円
(岡地区にある岡創作館の老朽に伴い、修繕を行う。)

トイレ等の改修を行う
岡創作館
(岡地区)



- ・彦五郎公園遊具設置工事…………… 200万円
(彦五郎公園他に健康遊具を設置する。)



彦五郎公園
(生馬地区)

尚、これらの上記事業については、平成 22 年度へ繰越して実施することになっています。

<平成22年度当初予算>

平成22年度の一般会計・特別会計予算額

| 会 計 名 | | 予 算 額 |
|---------|---------------------|---------------|
| 一 般 会 計 | | 54億6,000万円 |
| 特 別 会 計 | 国 民 健 康 保 險 事 業 | 17億8,893万7千円 |
| | 老 人 保 健 | 398万8千円 |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | 2億1,236万3千円 |
| | 介 護 保 險 | 10億8,108万4千円 |
| | 町 営 砂 利 採 取 碎 石 事 業 | 7,466万1千円 |
| | 宅 地 造 成 事 業 | 2億3,605万2千円 |
| | 宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業 | 342万4千円 |
| | 住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業 | 1,723万5千円 |
| | 獎 学 事 業 | 720万1千円 |
| | 水 道 事 業 | 4億5,700万円 |
| | 收 益 的 事 業 | 2億2,554万3千円 |
| | 資 本 的 事 業 | |
| | 共 同 汚 水 処 理 施 設 事 業 | 1,570万7千円 |
| | 農 業 集 落 排 水 事 業 | 1億8,855万2千円 |
| | 公 共 下 水 道 事 業 | 3億8,300万4千円 |
| | 朝 来 財 産 区 | 470万円 |
| | 西 牟 妻 郡 公 平 委 員 会 | 132万5千円 |
| 計 | | 101億6,077万6千円 |

平成22年度の一般会計当初予算は54億6,000万円で、対前年度と比較すると、7億5,800万円（16.1%）の増となっています。

引き続き事務事業の見直し等、行政改革を進めている中で、扶助費（医療費等）や一部事務組合の負担金等が増加していること、また昨年度までは、歳入は1年間を見通した決算に近い額で、歳出は歳入に見合う額とした編成方針でしたが、本年度は、歳入、歳出とも1年間を見通した決算に近い額で編成した関係で、減債基金等を若干取り崩したものとなっています。

尚、増額の主なものとしては、高速道路推進費や栗ヶ谷住宅建築等に要する経費を措置したことによるものです。

（減債基金・・・地方公共団体（役場）の借金を返す計画のために設けた基金）

平成22年度 一般会計予算の主な歳出

議会費

- 定例会等議事録作成業務委託料 100万円
(3月・6月・9月・12月に行う議会定例会及び臨時会の会議録作成委託料)

総務費

- (総務管理費)
 - 町内会運営補助金 598万円
(98町内会へ、1戸当たり1,300円を運営補助)
 - チャイルドシート購入費補助金 40万円
(チャイルドシート購入費の2分の1を補助する。但し補助金の上限は10,000円)
 - くちくまのコミュニティバス運行経費補助金 1,520万円
(町内で運行しているコミュニティバスの運行を委託している明光バスへの補助)

- ・口熊野町づくり事業費(イベント補助金) 400万円
(イベントの内容…プロ野球ウエスタンリーグ、大賀ハスまつり、富田川友遊フェスティバル、南紀おやじバンドコンテスト、関西独立リーグ(野球))

平成21年度 南紀おやじバンド
コンテストより
(上富田文化会館で)



- ・男女共同参画社会推進費 55万8千円
(男女共同参画社会の形成に関する取組のための費用)
 - ・地籍調査費 5,623万7千円
(平成21年度末で、事業の進捗率は、町全体要調査面積の約32.6%となっている。平成22年度の新規地区は、岩田字上殿、大坊地区を調査予定)
 - ・総合計画策定費 321万円
(明るく豊かなまちづくりの実現に向けて、第4次上富田町総合計画を策定する費用)
 - ・ふるさと雇用再生特別基金事業費(就学前児童の育成支援委託料) 773万6千円
(原則、在宅で児童を養育している家庭を対象として、親が病気などで子どもの世話ができない時に、親や家庭への子育て支援を行うことを目的として、スポーツセンター隣の上富田地域交流センター内に一時預かりの保育施設を設置し、その業務を「くちくまのクラブシーカ」に委託する。)
 - ・緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費 2,060万3千円
(この基金を活用することにより、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業費)
 - ・和歌山地方税回収機構負担金 204万9千円
(税の滞納整理のために県下市町村で設立している地方税回収機構への町負担金)
- (選挙費)
- ・町議会議員選挙費 869万円
(平成22年5月16日任期満了による選挙費用)
 - ・参議院議員選挙費 825万円
(平成22年7月25日任期満了による選挙費用)
 - ・県知事選挙費 815万6千円
(平成22年12月16日任期満了による選挙費用)
 - ・農業委員会委員選挙費 351万円
(平成23年2月23日任期満了による選挙費用)
 - ・市ノ瀬財産区議会議員選挙費 240万7千円
(平成23年3月18日任期満了による選挙費用)
- (統計調査費)
- ・指定統計調査費 642万9千円
(5年に一回実施される国勢調査にかかる費用)

民生費

(社会福祉総務費)

- ・地域福祉センター管理委託料 250万円
(指定管理者制度に伴い、上富田福祉センターを町社会福祉協議会に管理委託する費用)
- ・特別会計介護保険繰出金 1億7,095万6千円
(介護保険会計の町負担分として一般会計より繰出)

| | |
|----------------------------------|---|
| (老人福祉費) | |
| ・緊急通報監視センター委託料 | 378万円 (一人暮らし高齢者の安否確認を総合警備保障に委託) |
| ・敬老年金 | 342万円 (80歳以上の方に、年額3,000円を支給) |
| ・在宅ねたきり老人介護者手当 | 72万円 (月額4,000円を在宅介護されている方に支給) |
| (障害福祉費) | |
| ・扶助費（障害福祉サービス費 他） | 2億3,921万円 (障害者自立支援法に係る福祉サービス給付費等) |
| (社会・児童福祉医療費) | |
| ・後期高齢者医療広域連合負担金 | 212万6千円 (平成20年度より開始された75歳以上の後期高齢者医療制度を県下全市町村による広域連合で運営するための町負担金) |
| ・特別会計後期高齢者医療繰出金 | 1億3,535万3千円 (平成20年度より始まった後期高齢者医療会計への町負担分を一般会計より繰出) |
| ・扶助費（重度心身障害児（者）・乳幼児・ひとり親家庭 他医療費） | 1億683万5千円 |
| ・特別会計国民健康保険会計へ繰出金 | 1億5,801万円 (国民健康保険会計の町負担分を一般会計より繰出) |
| (児童福祉費) | |
| ・紀州3人っこ施策事業費補助金 | 45万円 (平成19年度より始まった施策で、少子化対策の一環として、満18歳未満の児童が3人以上いる世帯に対して、第3子以降の3歳未満児の保育料が無料となる。) |
| ・子育て支援軽減施策事業費補助金 | 30万円 (小学校就学前の児童のいる家庭で、何らかの理由により、通常育児が困難になり、町が契約している子育てのNPO法人が行う児童の一時預かりを利用した場合の利用料の半額を補助する。但し、一世帯当たり年15,000円が限度) |
| ・保育所運営費 | 3億1,122万6千円 (町内5つの保育所の運営費及び広域保育所運営委託料等) |

こいのぼりと一緒に
(朝来第2保育所で)



| | |
|----------------|---|
| ・児童措置費（子ども手当費） | 3億2,175万円 平成22年度は中学校修了までの児童を対象に、月額13,000円を支給する。) |
| ・(災害救助費) | 1,205万円 (災害が起きたときの災害弔慰金・災害見舞金・災害援護資金貸付金等) |

衛生費

| | |
|---------------------|--|
| (保健衛生総務費) | |
| ・委託料（乳幼児健診・妊産婦検診 他） | 1,591万円 (医療機関等へ委託) |
| ・公立紀南病院組合負担金（運営費 他） | 5,454万9千円 (田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する紀南病院組合への町負担分) |
| ・病院群輪番制負担金 | 224万円 (休日における診療当番の医療機関に係る負担金・・・田辺周辺広域市町村圏組合で調整) |
| ・不妊治療費補助金 | 18万円 (不妊に悩む夫婦に対して、一般不妊治療費の一部を補助) |

- ・妊婦健康診査費補助金 650万円
(子どもを産み育てようとする世帯の経済的負担を軽減するため、妊産婦健診費用について一部を補助)
- (予防費)
 - ・委託料（各種検診、インフルエンザ 他） 2, 989万3千円
(がん検診他について、医療機関等へ委託)
- (環境衛生費)
 - ・斎場事務業務委託料 782万円
(白浜町の斎場使用に係る委託料)
- (清掃総務費)
 - ・委託料（可燃物、不燃物収集委託料 他） 8, 138万2千円
(町内の可燃物、不燃焼物収集に係る委託料 他)
 - ・上大中清掃施設組合負担金（運営経費 他） 1億1, 873万8千円
(田辺市・上富田町で組織する組合の運営経費と建設経費に伴う町負担金)
 - ・富田川衛生施設組合負担金 1億71万8千円
(白浜町・田辺市・上富田町で組織する組合の経常経費と建設経費に伴う町負担金)
 - ・ごみステーション補助金 20万円
(ごみ集積箱の設置に対する補助で、補助率5割で限度額25, 000円)
 - ・電気式生ごみ処理機購入費補助金 20万円
(購入費の1/3を補助、限度額20, 000円)
 - ・(財)紀南環境整備公社運営費補助金 220万円
(紀南の11市町村でごみ最終処分場の計画を進めている整備公社への町負担分)
 - ・合併処理浄化槽補助金 1, 217万8千円
(各家庭における合併処理浄化槽設置に伴う補助金　区域制限等条件あり)

農林水産業費

- ・上富田町農業振興協議会補助金 542万4千円
(協議会は、農業振興の研究、研修、事業等を行っている。)
- ・特別会計農業集落排水事業繰出金 1億4, 356万8千円
(特別会計農業集落排水事業会計へ一般会計から繰出)
- ・日本一うめ産地支援事業費補助金 50万円
(生育不良の梅に対し、樹勢回復を実施する補助金で、実施主体のJA紀南に交付)
- ・中山間地域等直接支払事業交付金 1, 700万円
(中山間地域の農地の耕作放棄の発生を防ぐために事業実施地区へ交付)



中山間事業を利用した
農道改修工事
(生馬 笹太地域で)

- ・有害駆除捕獲補助金 96万円
(有害駆除捕獲の補助金 サル1頭30, 000円 アライグマ1頭 3, 000円)
- ・森林整備地域活動支援交付金 680万円
(荒廃した森林の現況を確認し、その整備を目的に西牟婁森林組合等に交付)

商工費

| | |
|--|---------|
| ・商工会補助金 | 330万円 |
| (上富田町商工会への補助金) | |
| ・知的創造活動促進奨励金 | 30万円 |
| (工夫・発明等の特許権、商標登録等に要する国への費用について、町が一部助成) | |
| ・経営安定奨励金 | 100万円 |
| (上富田町における事業所等の新設並びに経営の安定維持を行う者に対し、奨励措置を講じ産業の振興及び雇用機会の拡大維持を図る。) | |
| ・事業所等設置奨励金 | 850万円 |
| (上富田町へ新たな事業所等の立地促進を奨励する。) | |
| ・観光協会補助金 | 189万9千円 |
| (上富田町観光協会への補助金) | |

土木費

| | |
|---|-----------|
| ・木造住宅耐震診断業務委託料 | 22万円 |
| (昭和56年以前建築の住宅で、200m ² 以下の家屋が診断の対象・個人は無料) | |
| ・木造住宅耐震改修費補助金 | 60万円 |
| (診断を行い該当すれば、改修費用の2/3を補助 (最高60万限度に補助)) | |
| ・県営事業負担金 | 60万円 |
| (町内で実施している県営の急傾斜崩壊対策工事に伴う町負担金) | |
| ・南紀ノ台1号線歩道設置用地購入費 | 400万円 |
| (歩道を設置するための用地購入費) | |
| ・高速道路推進費 | 1億979万6千円 |
| (高速道路の推進にあたり出向する職員の人件費・町関連施設の用地購入費等を措置) | |
| ・社会資本整備総合交付金事業 (橋梁の塗装工事等) | 4,630万4千円 |
| (国の交付金事業であり、今回、この事業により生馬板木橋他4橋梁を塗装する。) | |
| ・特別会計公共下水道事業繰出金 | 1億6,960万円 |
| (特別会計公共下水道事業会計への一般会計からの繰出金) | |
| ・公営住宅建設事業費 | |
| 3億9,022万6千円 | |
| (生馬 栗ヶ谷住宅建築工事及び岡(旧)中島住宅の除却工事 他) | |

栗ヶ谷住宅の
新築移転する土地

(上富田浄化センターサイド)



消防費

| | |
|-------------------|---------|
| ・消防事務業務委託料 | 2億780万円 |
| (消防事務に係る田辺市への委託料) | |
| ・・・上富田消防署分) | |

上富田消防署



- ・備品購入費（防災用備蓄備品等）…………… 132万6千円
(ジェットホース・防災用備蓄品等の購入費)
- ・県防災ヘリコプター運航維持運営負担金…………… 109万1千円
(県防災ヘリコプター運航に係る町負担金)
- ・自主防災組織育成事業補助金…………… 100万円
(大規模災害に備えて、町内会等、地域での自主防災組織設立に係る補助)



自主防災会、熊野高校生徒等の
参加による平成21年度防災訓練より
(県立熊野高校で)

教育費

- ・適応指導教室運営費…………… 362万6千円
(20年度より行っている不登校児童の対策費)
- ・英語指導助手設置事業費補助金…………… 450万円
(中学校等の英語指導助手に係る費用)
- ・上富田中学校費・校舎、屋内運動場耐震改修にかかる委託料他…………… 800万円
(上富田中学校の校舎、体育館の耐震診断判定手数料及び改修設計委託料)

上富田中学校



- ・海外研修業務委託料…………… 920万円
(毎年実施している上富田中学校生徒のオーストラリア研修委託料)
- ・生涯学習事業費（ボランティア活動、上富田町文化協会活動補助金 他）…………… 881万7千円
(生涯学習の活動に伴う費用)
- ・放課後児童対策業務委託料…………… 1, 317万4千円
(あすなろ学童保育、なごみ学童保育の業務委託料等)
- ・図書館運営費（町立図書館の運営費）…………… 930万円
(図書購入費含む運営費等)
- ・文化会館運営費（自主事業委託料他）…………… 3, 579万2千円
(上富田文化会館の管理・運営・催しに係る費用)
- ・紀州口熊野マラソン実行委員会補助金…………… 350万円
(紀州口熊野マラソンに伴う実行委員会への補助金)
- ・体育施設管理費…………… 3, 745万7千円
(上富田スポーツセンターに係る管理費等)

公債費

- ・長期債償還金(元金)…………… 6億5, 568万3千円
(借入金の償還元金)
- ・長期債償還金（利子）…………… 1億3, 057万5千円
(借入金の償還利子)

一般質問

木村 政子議員

①南紀の台から岩崎へ抜ける道路の計画はどうか ②町広報の放送時間について
③地域見守り協力員の役割について ④乳幼児健診の未受診者はいるか

ここが聞きたい!

平成22年3月定例会の一般質問は、日程2日目の3月11に行われ、2議員が登壇し、当局の考え方を質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。

①南紀の台から岩崎へ抜ける道路の計画はどうか



質問 以前から町内会より八m道路の強い要望が出ている。南紀の台を通じる車の増加からしても早急な手立てが必要と考えるがどうか。

町長 岩崎から南紀の台へ道路をつくりたいと国、県に要望している。

たきない町や神島台の
医療施設に国道311号
からすぐ入れる道路が必
要との認識をしている。

新規の町道認定も難しい
状況なので、将来できる
ならやりたい。

産業建設課長 高速道路工事に伴い、国土交通省が新川左岸側に工事用進入道路を計画しているので、将来的に利用して南

紀の台への連結構想を検討課題とする。

②町広報の放送時間について

路暗渠計画は、将来的に車両が対向できる幅員と
いう形で協議を進めてい
る。

質問 2月から工コスタ
イル事業の朝の町民への
呼びかけが中止されたた
め、収集場所への持ち込
みが激減した。

放送時間についての苦情があることは理解するが、事業の継続のために朝の放送が不可欠であるので再考してはどうか。

③地域見守り協力員の役割について

課とも協議
し従来通り
放送できるよう検討して
いく。

(3) 地域見守り協力員の役割について

町長 県が始めた行政だ
が続けなければならぬ。

④乳幼児健診の未受診者はいるか

ても止むを得ないと判断する位の余裕を持つてもらいたい。

④ 乳幼児健診の未受診者はいるか

住民生活課企画員 当町

養育医療の申請がされていて、保健所と町が共同で、訪問指導事業をしている。

状況把握に努めた。
低体重兒は、20年度2,
500グラム未満が12名

すべての健診が未受診は、過去に一例あつた。車の運転ができないためで、保健師が数回訪問し、状況把握に努めた。

における乳幼児健診の体制は、肢股検診、4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児健診と2歳半の歯科検診を実施。

朝来上村地区に設置された資源ごみの回収場所

4-

意見書

3月定例会で意見書2件が提出され、いずれも可決後、国の関係機関へ送付しました。

もかわらず、年々保険料が上がり、支払いが困難となっている世帯が増えている。

国民健康保険には、被用者保険の事業主負担に当たるものがないため、国が国庫負担を定めている。

国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額を求める意見書の事業促進を求める意見書

国民健康保険は19

58年の国民健康保険法によつて、健康で文化的な最低限度の生活を保障する日本国憲法第25条を医療面で具体化し、国民皆保険制度を実現するものとして制度化された。

現在、国民健康保険加入者の状況は高齢者が増え、さらに青年の非正規雇用者の加入なども増えている。そのため、国民健康保険は、事実上、低所得他の医療保険に入れない人々の医療保険となつていている。ところが、加入者の所得は低下しているに

額されるよう強く要望する。

意ができず、核軍縮はもとより核不拡散体制そのものが危機的状況に直面しています。

こうした中で、昨年4月にオバマ米国大統領はプラハ演説で、唯一核兵器を使用した国として核兵器廃絶に向

け行動する責任があると語り、また鳩山総理も国連安全保障理事会首脳級特別会合において、被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つと

本が米国などと共同提案した核軍縮決議案に

P T再検討会議において議題とし採択して、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交に取り組まれたい。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

提出者 井潤治
賛成者 木村政子
木本敏
木本眞次

るとともに、広島・長崎市が主宰する平和市長会議が提唱する「20ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」の具体的な道筋を示す「ヒロシマ・ナガサキ議定書」について、被爆65周年を迎える2010年に開かれるN

PT再検討会議において議題とし採択して、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交に取り組まれたい。

世界の恒久平和は人類共通の願いであり、わが国は世界で唯一の被爆国として、二度と広島・長崎の惨劇を許さないといふ決意のもとに、これまで非核3原則を国是として全世界に対し、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。

しかし、核兵器は現た。その結果、市町村に占める国庫負担の割合は、現在では3割に減っている。

よつて国におかれても世界に約2万1,000発も存在するとされ、今なお人類はその脅威から開放されていません。それどころか、2000年の核拡散防止条約（以下「NPT」という。）再検討会議では、全面的な核兵器廃絶を約束したはずが、2005年の同会議では実質事項に関する合

意ができる、核軍縮はもとより核不拡散体制そのものが危機的状況に直面しています。

こうした中で、昨年4月にオバマ米国大統領はプラハ演説で、唯一核兵器を使用した国として核兵器廃絶に向

け行動する責任があると語り、また鳩山総理も国連安全保障理事会首脳級特別会合において、被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つと

本が米国などと共同提案した核軍縮決議案に

P T再検討会議において議題とし採択して、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交に取り組まれたい。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

提出者 木村政子
木本敏
木本眞次
井潤治
副委員長 大石哲雄
委員 畑山豊
池口公二

るとともに、広島・長崎市が主宰する平和市長会議が提唱する「20ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」の具体的な道筋を示す「ヒロシマ・ナガサキ議定書」について、被爆65周年を迎える2010年に開かれるN

PT再検討会議において議題とし採択して、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく、核軍縮・不拡散外交に取り組まれたい。

編集後記

町民の皆さんに身近に関心を持つ

ていただける議会だよりを作成するために平成20年5月より2年間努力してきましたが、今回議員の任期満了による議会改選があり、当委員による発行は、この第130号が最後となり、次号からは新しい委員による活動となります。これまでのご指導ご協力を心から感謝申し上げます。今後も、議会広報特別委員会では、わかりやすく、読みやすい議会だよりをモットーとして発行を続けてまいります。



「議会だより」130号を編集する議会広報特別委員会